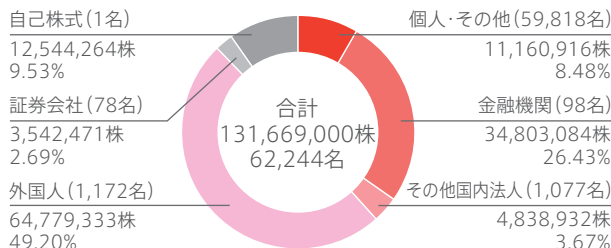


株式の状況



(2019年3月31日現在)

所有者別株式数比率



大株主

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
ジェービー モルガン チェース バンク 380055	127,911	10.74
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	59,387	4.99
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	55,420	4.65
㈱京都銀行	48,802	4.10
野村信託銀行(株)(退職給付信託三菱UFJ銀行口)	42,109	3.53
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5)	24,169	2.03
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505223	20,049	1.68
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	19,829	1.66
㈱ディー・エヌ・エー	17,594	1.48
ステートストリートバンクウェストクライアントトリティー 505234	17,437	1.46

(注) 1.当社は自己株式125,442百株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2.持株比率は当社の自己株式を控除して計算しております。

取締役および執行役員



(2019年6月27日現在)

地 位	氏 名
代表取締役社長	古 川 俊 太 郎
代表取締役 フェロー	宮 本 茂 也
取締役 専務執行役員	高 橋 伸 也
取締役 上席執行役員	塩 田 興 聡
取締役 上席執行役員	柴 田 直 樹
取締役 (常勤監査等委員)	野 口 直 樹
社外取締役 (監査等委員)	水 谷 直 樹
社外取締役 (監査等委員)	梅 山 克 啓
社外取締役 (監査等委員)	山 崎 正 雄
上席執行役員	大 進 和 士
上席執行役員	小 泉 仁 晃
執行役員	手 塚 卓 志
執行役員	村 上 元 介
執行役員	別 府 裕 介
執行役員	山 岸 健 太 郎
執行役員	Doug Bowser
執行役員	Stephan Bole

(注) 社外取締役 水谷直樹氏、梅山克啓氏および山崎正雄氏は、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

会社の概要



(2019年3月31日現在)

商号 任天堂株式会社 (英語名 Nintendo Co., Ltd.)
 本社 京都市南区上鳥羽鉾町11番地1
 TEL 075-662-9600 (代表)
 設立 1947年11月20日
 資本金 10,065,400,000円
 主な子会社 任天堂販売株式会社
 Nintendo of America Inc. (アメリカ)
 Nintendo of Europe GmbH (ドイツ)
 従業員数 5,944名 (連結)

株主メモ



- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について
お取引の証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 「配当金計算書」について
同封の「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねており、確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。確定申告をされる株主様は、お手続きの際に必要となりますので、大切に保管ください。
紛失等ございましたら、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

株主名簿管理人

三井住友信託銀行株式会社
 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

同事務取扱場所

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 大阪府中央区北浜四丁目5番33号

株主名簿管理人・特別口座管理機関への お問い合わせ先

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

Tel 0120-782-031 (フリーダイヤル)

※ 受付時間 平日9:00~17:00

任天堂株式会社

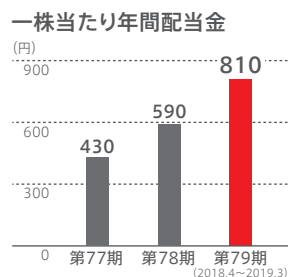
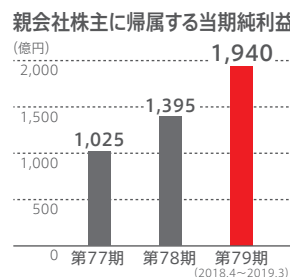
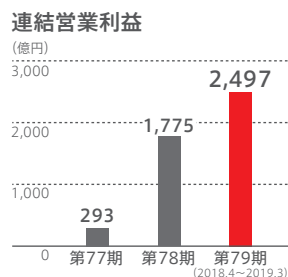
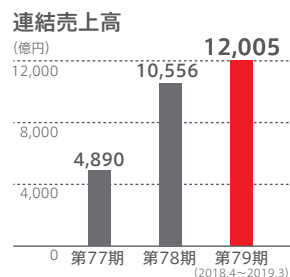
Nintendo



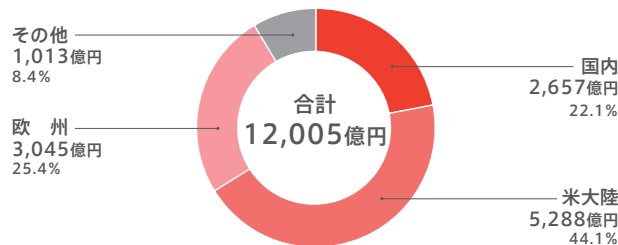
第79期 報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

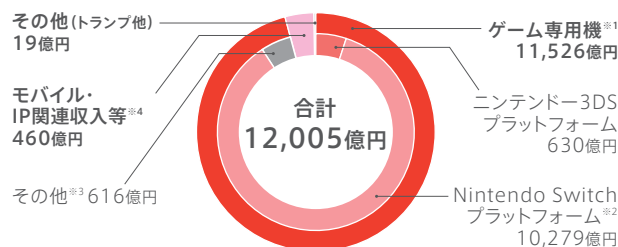
財務ハイライト



地域別連結売上高 (2018.4.1～2019.3.31)



連結販売実績 (2018.4.1～2019.3.31)



(参考) ゲーム専用機に含まれるデジタル売上高^{*5} 当連結会計年度 1,188億円

※1 各プラットフォームの内訳は、ハードウェア・ソフトウェア(パッケージ併売ダウンロードソフト、ダウンロード専用ソフト、追加コンテンツ含む)・アクセサリ等を含みます。

※2 Nintendo Switch Onlineを含みます。

※3 ニンテンドー3DS、Nintendo Switch以外のゲームプラットフォームやamiibo、バーチャルコンソール等になります。

※4 スマートデバイス向け課金収入、ロイヤリティ収入等になります。

※5 パッケージ併売ダウンロードソフト、ダウンロード専用ソフト、追加コンテンツ、Nintendo Switch Online等の売上高になります。

財務情報



連結貸借対照表 (要旨)

[単位: 百万円]

科目	当期末 (2019.3.31現在)	前期末 (2018.3.31現在)
資産の部		
流動資産	1,344,972	1,265,929
固定資産	345,331	367,544
有形固定資産	81,550	83,926
無形固定資産	14,090	14,020
投資その他の資産	249,690	269,597
資産合計	1,690,304	1,633,474
負債の部		
流動負債	245,009	278,076
固定負債	30,496	31,822
負債合計	275,505	309,899
純資産の部		
株主資本	1,422,260	1,337,369
資本金	10,065	10,065
資本剰余金	12,069	13,742
利益剰余金	1,556,881	1,564,240
自己株式	△ 156,755	△ 250,679
その他の包括利益累計額	△ 12,548	△ 18,334
その他有価証券評価差額金	17,665	16,402
為替換算調整勘定	△ 30,214	△ 34,736
非支配株主持分	5,086	4,540
純資産合計	1,414,798	1,323,574
負債純資産合計	1,690,304	1,633,474

連結損益計算書 (要旨)

[単位: 百万円]

科目	当期 (2018.4. 1から 2019.3.31まで)	前期 (2017.4. 1から 2018.3.31まで)
売上高	1,200,560	1,055,682
売上原価	699,370	652,141
売上総利益	501,189	403,540
販売費及び一般管理費	251,488	225,983
営業利益	249,701	177,557
営業外収益	28,315	23,509
営業外費用	662	1,710
経常利益	277,355	199,356
特別利益	1	3,240
特別損失	5,584	1,507
税金等調整前当期純利益	271,772	201,090
法人税等	77,204	60,144
非支配株主に帰属する当期純利益	558	1,354
親会社株主に帰属する当期純利益	194,009	139,590

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

区分	当期 (2018.4. 1から 2019.3.31まで)	前期 (2017.4. 1から 2018.3.31まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	170,529	152,208
投資活動によるキャッシュ・フロー	45,353	61,387
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 109,037	△ 61,311
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 5,948	1,222
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	100,897	153,506
現金及び現金同等物の期首残高	484,480	330,974
現金及び現金同等物の期末残高	585,378	484,480

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を第79期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。この表示方法の変更を反映させるため、前期末(第78期(2017年4月1日から2018年3月31日まで))の連結財務諸表の組み替えを行っています。

株主の皆様へ

代表取締役社長 古川 俊太郎

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社グループの第79期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の業績につきまして、その概要をご報告申し上げます。

事業の経過およびその成果

当期の状況は、Nintendo Switchでは、ソフトウェアの販売が好調に推移し、ハードウェアの販売拡大に貢献しました。特に『大乱闘スマッシュブラザーズ SPECIAL』が1,381万本、『ポケットモンスター Let's Go! ピカチュウ・Let's Go! イーブイ』が1,063万本、『スーパー マリオパーティ』が640万本の販売を記録するなど全世界で大ヒットとなりました。加えて、『マリオカート8 デラックス』が747万本を販売するなど、前期以前に発売したタイトルやソフト

メーカー様のタイトルも好調に販売本数を伸ばし、当期のミリオンセラーのタイトル数はソフトメーカー様のタイトルを含めて23タイトルとなりました。これらの結果、当期のハードウェアの販売台数は1,695万台(前期比12.7%増)、ソフトウェアの販売本数は1億1,855万本(前期比86.7%増)となりました。

一方、発売から8年が経過したニンテンドー3DSでは、ハードウェアの販売台数は255万台(前期比60.2%減)、ソフトウェアの販売本数は1,322万本(前期比62.9%減)となりました。

その他、「ニンテンドークラシックミニ ファミリーコンピュータ」および「ニンテンドークラシックミニ スーパーファミコン」は合計595万台の販売となりました。

ゲーム専用機におけるデジタルビジネスでは、主にNintendo Switchのパッケージ併売ソフトやダウン

ロード専用ソフト等による売上が好調だったことにより、デジタル売上高は1,188億円(前期比95.4%増)となりました。

モバイルビジネスでは、当期に配信を開始した『ドラガリアロスト』をはじめ、配信済みのアプリも国内外で多くのお客様に楽しんでいただいております。モバイル・IP関連収入等の売上高は460億円(前期比17.0%増)となりました。

これらの状況により、売上高は1兆2,005億円(うち、海外売上高9,348億円、海外売上高比率77.9%)、営業利益は2,497億円となりました。また、経常利益は2,773億円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,940億円となりました。

今後の見通し

当社グループは、「人々を笑顔にする娯楽をつくる会社」として、「任天堂IP(ゲームのキャラクターや世界観等)に触れる人口の拡大」を基本戦略とし、遊べば圧倒的に面白く、かつ一目で面白さが伝わる独創的な商品やサービスの企画開発に取り組みます。また、任天堂IPの積極的な活用を進め、当社が取り組む娯楽の領域や規模の拡大を目指すとともに、ニンテンドーアカウントを活用したビジネスを推進し、お客様との長期的なつながりの構築を目指します。

Nintendo Switchは、発売以来世界中で速いペースで普及が進んでおり、今後のさらなるビジネスの拡大に向けた土台ができました。この勢いを維持するために、4月に『Nintendo Labo Toy-Con 04: VR Kit』、

6月に『スーパーマリオメーカー 2』を発売し、7月には『ファイアーエムブレム 風花雪月』を発売します。また、人気シリーズの完全新作である『ポケットモンスター ソード・シールド』や『ゼルダの伝説 夢をみる島』、『ルイージマンション3』、『あつまれ どうぶつの森』の発売を予定しています。さらにソフトメーカー様からも有力なタイトルの発売が予定されており、発売済みの人気タイトルに加えて、魅力ある新規タイトルを継続的に投入することで、プラットフォームの活性化に努めます。

ニンテンドー3DSについては、豊富なソフトウェアラインアップを活かし、初めてゲーム専用機を手になされるお客様へアピールするとともに、引き続き、ハードウェアの普及基盤を活かした定番タイトルの販売に努めていきます。

モバイルビジネスでは、『Dr. Mario World』、『Mario Kart Tour』の配信を予定しています。併せて、当期までに配信したアプリをより多くのお客様に継続して楽しんでいただくことでビジネスの拡大に努めます。

今後も時代に合わせて柔軟に自らを変化させ、「娯楽は他と違うからこそ価値がある」という「独創」の精神を大切にし、お客様に良い意味で驚いていただける商品やサービスを提供していきます。

これらの取り組みのもと、引き続き社業の発展に邁進する所存でございますので、株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。